

平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	交通取締りによる事故抑止の向上方策及び取締り手法の高度化等に関する調査研究		担当部局庁	交通局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	交通指導課		交通指導課長 堀 誠司			
会計区分	一般会計		政策・施策名	安全かつ快適な交通の確保 2 運転者対策の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成24年の交通事故死者数は、4,411人となり、12年連続して減少しているが、平成30年に死者数を2,500人以下とする政府目標を達成するためには、これまで以上に事故抑止効果が高い交通指導取締りが必要となっている。本調査は、効果的な取締りの指標について検討するとともに、新たな取締り手法・機器について検討を行い、交通取締り手法の高度化等に資するものである。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	交通事故、取締りの膨大なデータを、最新の統計学的手法で分析することにより、取締りによる事故抑止効果を検証するとともに、事故発生状況に応じた取締りや取締りの組み合わせの検証を行う。これらの検証結果に基づき「効果的な取締りのための指標」を検討する。また、新たな取締り手法、取締り機器の導入に向けて、海外で既に実用化されている取締り手法や取締り機器について調査するとともに、新たな取締り機器についてモデル地区実験を行い、設置・運用面での課題を検討する。								
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算							
		繰越し等							
		計					30		
	執行額								
	執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)	
	(成果目標) 交通取締りによる事故抑止の向上方策及び取締り手法の高度化に関する報告書の取りまとめ (成果実績) 報告書数			成果実績	件	-	-	-	1
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	「交通取締りによる事故抑止の向上方策及び取締り手法の高度化等に関する検討委員会」開催回数			活動実績 (当初見込み)	回	-	-	-	
						-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	30,717,000(円/事業)			算出根拠	26年度要求額/事業				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	人件費等		30						
	計	-	30						

事業所管部局による点検							
	項目			評価	評価に関する説明		
国費 投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。				交通取締りの在り方を検討するため、国家公安委員会委員長が主催する懇談会が設けられており、本調査は優先度の高い事業である。交通取締りについて全国的に一定の水準を確保するため、本調査は国において国費により行う必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。						
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。						
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。						
	受益者との負担関係は妥当であるか。						
	単位当たりコストの水準は妥当か。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						
事業の 有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。						
重複 排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。						
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)						
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名				
点検 結果	<ol style="list-style-type: none"> 過去の事業仕分け等の結果、横断的な見直し基準等の反映状況 事業の必要性等を検証し、単価等の検討を行った上で予算の積算を行っている。 事業の成果目標及び活動指標の設定状況及び事業効果等の検討状況 適切な成果目標及び活動指標を設定しており、事業効果も高い。また、警察庁が直接契約することで適切に支出先・使途が把握でき、一般競争入札を実施することで、契約手続きにおける透明性の確保に努める。 国民のニーズへの対応状況 これまで以上に交通事故抑止効果が高い交通指導取締りを行うことは、安全な交通環境を確保し、国民の生命・身体の安全確保に資するものである。 警察庁が行う業務としての妥当性 全国の交通指導取締り手法の高度化等に資する調査研究は、都道府県警察の導入を見据えて検証する必要があり、警察庁が行うべき事業である。 						
	外部有識者の所見						
	外部有識者の点検対象外						
	行政事業レビュー推進チームの所見						
<div style="border-left: 1px dashed black; padding-left: 10px;"> 要求に当たって検討すべき事項について、おおむね適切に検討がなされている。 </div>							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
<div style="border-left: 1px dashed black; padding-left: 10px;"> 特になし。 </div>							
備考							
特になし。							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-	

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

警察庁
30百万円



【一般競争入札を予定】

(受託した調査研究事業を実施)